



### 渡良瀬川河川敷にある 青少年ひろばの整備について

川村 幸人 議員



**質問** 青少年ひろばの利用者からは、過去にどのような要望やご意見があったのか、伺います。

**答** 既存の移動式簡易トイレは老朽化が進み、男性のみならず、特に女性の利用者から、使いづらいという声があることを利用団体から伺っています。

**質問** 今年度の整備事業で移動式トイレの新設工事が決定したが、進捗状況について伺います。

**答** 設置工事のスケジュールについては、施工業者の選定を行い、国や施工業者、利用団体と調整しながら、11月から年度末の渇水時期を予定しています。

**質問** どのような仕様の移動式トイレを予定しているのか伺います。

**答** 現在使用している移動式簡易トイレとは異なり、便槽を地下に埋設し、かつ水道管を直接トイレにつなげることで、固定式の通常の水洗トイレに近い形態であるため、においを抑えたうえで、より衛生的に利用できるものです。完全なバリアフリー対応ではありませんが、現在設置しているトイレのように大きな

段差がないため、高齢者の方や体の不自由な方でも、比較的に利用しやすいものと考えています。

**質問** 多田市長に質問ですが、今回新設するタイプと同様の移動式トイレを今後増設する考えがあるのか伺います。

**答** 利用者の声や利用状況を踏まえながら、必要に応じた対応を検討していきたいと考えています。

**要望** 多田市長の選挙公約の中に、「館林からアスリ



新設を  
予定している  
移動式トイレ

ートを指すスポーツ環境の整備を進めます」とあるのですから、この公約を現実させるためにも、そして、何よりも市民の皆さんのために移動式トイレの増設を強く要望します。



### ごみステーションの現状と課題 高齢者等のごみ出し支援について

小林 信議員



**ごみステーションの改善を**  
**質問** ごみ問題は各行政区とも、環境保健委員さんを中心に努力しています。

一か所の排出世帯が多いゴミステーションでは、収集日にごみがうず高く積まれ、誰が捨てたのか分からず、また、収集日以外にも捨てられている状況です。

一方、収集ボックスが設置されていて、一か所12世帯くらいのステーションでは、常にごみはみ出していることはありません。一か所の世帯数が多いステーションでは、ごみが散乱し、あふれかえっているなど、ごみの収集をされる作業員の方も大変な思いをしてい

ると思います。一か所に集中しているステーションは改善を検討すべきです。

**分散化によるメリット**

**答** ご指摘のとおり、ステーションを分散化することにより、マナーアップにつながるというメリットが十分考えられます。

適正なごみステーションのあり方については、多様な側面から総合的に検討する必要がありますが、関係する行政区や環境保健委員の皆様などとも連携しながら一つ

一つの課題解決を進めていきたいと考えています。

**高齢世帯への個別収集を**

**質問** ごみ出しについて、高齢世帯にとっては、身近な協力員に対して遠慮があり、支援を受け入れない世帯もあると思います。

市の職員が直接対応することで、安心感が持てると思います。高齢化社会への対応について伺います。

**前橋市等で実施**

**答** 職員が直接高齢者宅に伺い、収集する方法は、



既に前橋市等で週1回程度、登録者の住宅を訪問する形で行っています。

今後につきましては、先進自治体の事例を十分に検討し、関係機関と連携していきたいと考えています。